

自動制御の多分野応用小委員会（第25期・第5回）議事要旨

日時：令和5年5月29日（月）16:00～17:05

場所：遠隔会議（主催会場：大阪大学情報科学研究科棟計画数理学講座研究室）

出席：（順不同・敬称略）全18名

浅間 一（東大），井村 順一（東工大），岩崎 誠（名工大），榎木哲夫（京大），藤崎 泰正（阪大），水野 毅（埼玉大），太田 快人（京大），岡 宏一（高知工科大），貝原 俊也（神戸大），佐藤 昌之（熊本大），中野 公彦（東大），平田 健太郎（岡山大），藤本 康孝（横浜国大），増田 士朗（東京都立大），山下 善之（東京農工大），渡辺 亨（日大）

（報告者）平田 光男（宇都宮大），橋本 浩一（東北大）

欠席：金子 修（電気通信大）

配布資料：

資料1-1：自動制御の多分野応用小委員会（第25期・第4回）議事録

資料1-2：自動制御連合講演会運営委員会規程

資料1-3：自動制御連合講演会規程

資料2-1：第65回自動制御連合講演会開催報告

資料2-2：制御工学教員協議会（2022年）報告

資料2-3：制御工学教員協議会規約（総会用）

資料3：第66回自動制御連合講演会実施案

議事：

（1）前回議事録の確認

藤崎委員長（阪大）より，前回議事録（資料1-1，承認され学術会議のHPに掲載済み）の要点の紹介があった。

（2）自動制御連合講演会の運営に関する事項

藤崎委員長（阪大）より，講演会運営委員会規程（資料1-2）および講演会規程（資料1-3）の要点の再確認があった。

① 第65回自動制御連合講演会開催報告

平田光男実行委員長（宇都宮大）より，資料2-1に基づき報告がなされた。会期中に開催した前回の本小委員会にて報告済の内容を再確認するとともに，最終的な参加登録者が554名となったこと，優秀発表賞を21名に授与したこと，最終的な収支は収入が約610万円，支出が約350万円で黒字になったことが報告された。以上の開催報告を承認した。

② 制御工学教員協議会（2022年）報告

中野委員（東京大）より，資料2-2に基づき報告がなされた。前回の本小委員会にて報告済の実施計画通りに実施されたことの説明があった。

浅間委員から IFAC WC2023 でも開催される Girls in Control も教員協議会が共催することの確認があり、共催している旨の回答があった。また関連して、教員協議会の英語名称があるかの質問があり、英語名称は決まっていないが Girls in Control の対象者が横浜の小中学生であり Web ページは日本語なので問題ないとの回答があった。

③ 第66回自動制御連合講演会開催計画

橋本実行委員長（東北大）より、資料3に基づき計画案が説明された。開催日は10月7日（土）および8日（日）、会場は東北大学川内講義棟B・Cで、ハイブリッド開催を計画している。実行委員会のメンバーがほぼ確定し、仙台市からの助成金額が確定したので予算案を調整し、収入・支出とも約680万円とした。懇親会は実施しない。前回の本小委員会での審議結果に従い、IFACx Japan のロゴの使用申請を行い、Web ページに掲載済である。また、大学を会場とするため、大学側も共催を依頼予定である。なお、後援を依頼した日本学術会議からは、登壇者のダイバーシティ（性別等）にも配慮して頂きたいとのコメントがあった。

藤崎委員長よりハイブリッド開催の実施形態について確認があり、発表・聴講が対面・オンラインとも可、質疑は対面可・オンライン不可を基本線に検討しているとの回答があった。浅間委員より、ダイバーシティの確保に関して実行委員の女性メンバーを増やすのはどうか、また自動制御協議会にも後援を依頼してはどうかとのコメントがあった。佐藤委員より、事前参加登録締切が会期中になっている件について確認があり、当日まで参加登録サイトが使用できる意味であり、混乱しないように「事前」という文字を取ることを検討するとの回答があった。また、実行委員リストにSICEからの委員が抜けているのではとの指摘があり、確認し修正する旨の回答があった。

以上の意見交換も踏まえた上で、説明された実施計画を承認した。

④ 制御工学教員協議会(2023年)計画

橋本実行委員長（東北大）より、奥山武志教員協議会代表者に代わり、資料3に基づいて計画案が報告された。特別講演（教育研究集会）は10月7日（土）に実施予定であり、長沼恒雄様（アスカカンパニー）に講師を依頼している。

⑤ 第67回自動制御連合講演会計画

平田健太郎委員（岡山大）から口頭にて説明があった。第67回はシステム制御情報学会が、幹事学会として計画し、10月の第66回自動制御連合講演会までには、日程・会場・実行委員長・予算案をまとめて報告予定であるとの説明がなされた。

藤崎委員長より、主催学会に開催地と開催日程に不都合がないかを事前に確認する必要があることから、10月の運営委員会に先立って、夏ぐらいには、開催地と開催日程の案を知らせて欲しいとの依頼があった。

⑥ 制御工学教員協議会(2024年)計画

前項目⑤に同じ。

(3) IFAC分科会の活動について

榎木委員（京大）より口頭にて報告があった。第25期としてのIFAC分科会の活動は今年の9月までである。例年1月に開催しているIFAC分科会の会合は、今年はまだ開催していないが、近日中（IFAC WC 2023 の前後）に開催予定である。今年の IFAC 関連イベントは

IFAC WC 2023 のみ (WC開催年にはTCシンポ等は開催しないルール) である。来年開催される The 8th IFAC Symposium on Nonlinear Model Predictive Control (NMPC 2024) (TC2.4) は、開催日が2024年8月21日から24日に決定した。会場は京都大学百周年時計台記念館で、実行委員長は大塚敏之先生 (京大) であり、自動制御協議会にも共催を依頼済である。第66回自動制御連合講演会の IFACx Japan ロゴ使用については2022/11に橋本実行委員長名で申請、承認済みであり、第67回についてもロゴの使用申請する場合には、毎回認可を受ける必要があるため、Japan NMO の Representative (25期中は榎木委員) まで連絡すること。また、IFAC WC 2023イベント「IFAC2023「わ」のコンセプトの展開」は、2022年11月11日に、IFAC WC 2023 の会場でハイブリッド開催され、盛況だった。

(4) 今後の活動計画

岡委員 (高知工科大) より、自動制御連合講演会運営委員会が管理する Web サイトの自動制御協議会への移行について、まだ進捗がない旨の報告があった。

藤崎委員長 (阪大) より、本小委員会の設置期間が9月末までであるため、今回は本小委員会としてではなく、自動制御連合講演会運営委員会として開催する旨の説明があった。また開催日時は、恒例に従い、第66回自動制御連合講演会会期中の初日10月7日 (土) の昼を予定していること、講演会会場にて対面開催の予定であるが、状況によってはハイブリッド会議とする旨の説明があった。

以上